

LAGOON ANC

MANUAL



beyerdynamic

Lagoon ANC Bluetooth® ヘッドホンをお買い上げいただき、ありがとうございます。

お客さまに最高の聴覚体験をお届けするため、Lagoon ANC Bluetooth® の使い方について詳細な説明をさせていただきます。

安全上のご注意



- 本取扱説明をよくお読みになってから、製品を使用してください。
- 製品に破損が生じている場合には、ご使用にならないでください。
- beyerdynamic GmbH & Co. KG は、不注意、不適切な、誤った、または製造業者が意図した目的に応じない方法で製品を使用したために引き起こされた、製品への損害または人体に生じた怪我に対する責任を負いません。

人体へのリスクと事故発生の回避

- ヘッドホンをご使用の際は、最小音量に設定されていることをご確認ください。音量調整はヘッドホンを装着してから行ってください。聴力障害をきたしますので、ヘッドホンを大音量にして長時間使用しないでください。
- 音量が大きすぎたり、聞く時間が長すぎると、聴力に回復不能の損傷を引き起こすことがあることをご指摘します。
- 耳鳴りを患っておられる場合、大音量レベルで聞くことに注意してください。
- 常に適切な音量レベルを確保してください。大音量レベルで聞く時間をできるだけ短くすることをお勧めします。
- beyerdynamic MIY App で Bluetooth® ヘッドホンを個人的に合わせるすることができます。アプリの「Statistics」機能はユーザの耳が時間にわたってさらされる音圧レベルを追跡します。この機能はヘッドホンに組み込まれたスピーカーによって引き起こされた音圧だけに関連し、外部の音源からの音圧には関連しません。
- 製品、包装材料、アクセサリといった小さな部品をお子様やペットに近づけないようにしてください。誤って飲み込むと窒息の危険があります。
- ヘッドホンを使用することにより、周囲の音を聴く能力が劇的に低下します。路上でヘッドホンを使用することにより、大変危険な状況が発生することがあります。ユーザの聴力は、特に潜在的に危険な機械や工具の範囲内で利用することにより、交通安全の危険の原因になる程度まで損なわれてはなりません。
- 踏切の通過中や工事現場での作業等、聴覚が妨げられるべきではない状況では、ヘッドホンを使用しないでください。

ANC 機能

- Active Noise Cancellation (ANC) (能動型ノイズ消去) の機能は、ユーザが周囲音を聞くのを防ぎます。
- あなた自身や他の人々にとって危険を引き起こすかもしれないので、必要でない状況では、決して ANC を作動させてヘッドホンを使用しないでください。例えば、車を運転しているとき、自転車に乗っているとき、踏切を渡る時、あるいは往來のそばを歩くときなどです。
- これらの環境では、ヘッドホンを外すか、ANC を作動させないで使用し、警報や警告信号などの重要な音を確実にまだ聞くことができるように、音量をそれに合わせて調整してください。
- ご注意：警報や警告信号などの音は、ヘッドホンを使用しているとき、違って聞こえるかもしれません。

請求責任 / 適切な使用方法

- 本取扱説明に記載された内容に反する方法で本製品をご使用にならないでください。不適切な方法でご使用になった場合、beyerdynamic は製品やアクセサリに対する責任を負いません。
- beyerdynamic は、USB 仕様に対応しない USB デバイスの損害に対して責任を負いません。
- beyerdynamic は、空の、または古い電池により、または Bluetooth® 送信領域外であるために接続の中断が引き起こされたことに起因する損害に対する責任を負いません。
- 製品をご使用になる前に、対象国内の規則にご注意ください。

警告 デバイス

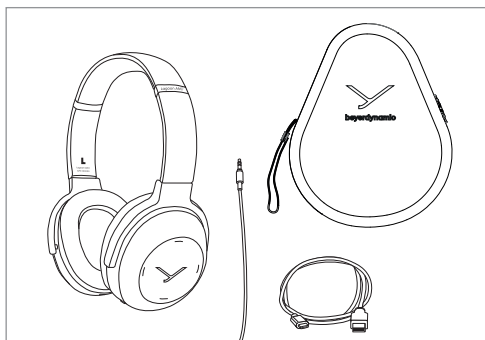
- 統合 USB ポート タイプ C を使用して電池を充電する場合は、USB 2.0/3.0 標準に準拠する 5V 電源のみが使用できます (消費電流は最大 1.0 A)。
- 警告：電池 (電池パック、または電池が取り付けられています) は直射日光や火など過度の熱にさらしてはなりません。
- 注意：本体を開かないでください。電池が正しく挿入されていない場合、爆発の危険があります。
- 製品を雨、雪、液体、あるいは湿気にさらさないでください。

警告 バッテリー

- 分解しないでください。
- 電池が水と接触した場合、使用しないでください。
- 高温にさらされることがないようにしてください (60 °C/140 °F)。環境温度が高すぎると、電池に回復不可能な損害がもたらされる場合があります。
- 電池を長期間使用しないため保管する場合は、電池の充電状態を約 50% にして、30 °C 以下の環境で保管するようにしてください。
- 決して電池を直射日光や火など過度の熱にさらさないでください。
- 誤った、または不適切な方法で使用すると、電池が損傷することがあります。極端な場合には次のような危険があります: 爆発、熱、火災、煙、ガスの発生。

同梱内容

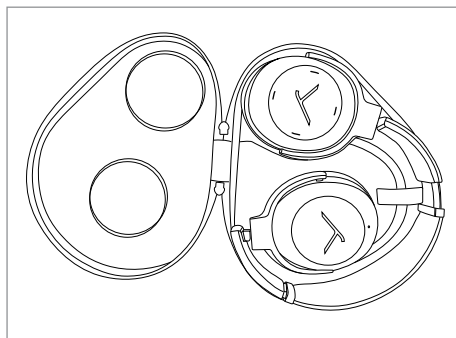
- ヘッドホン Lagoon ANC
- オーディオケーブル プラグ 3.5 mm
- 充電ケーブル USB A から USB C
- ハードケース
- クイックスタートガイド

**収納と梱包からの取り出し****取り出す**

- ハードケースを開いてヘッドホンを取り出します。
- イヤーパッド同士が向かい合うように、ハウジングを内側に向けます。

収納

- フォーンプラグがある右側のハウジングが外側になるよう、ハウジング同士が反対に向かい合うようにします。
- イヤーパッドを下向きにしてハードケースに入れます。



beyerdynamic MIY アプリ

beyerdynamic MIY アプリは、MOSAYC サウンドパーソナライゼーション、音声追跡統計やその他もっと多くのヘッドホンをあなたの個人的なニーズに合わせるための設定など、Lagoon ANC ヘッドホンに役に立つ機能を追加するための進化するツールです。

MOSAYC サウンドパーソナライゼーションを使用するとき、Lagoon ANC がさらにより良く聞こえることに気づくでしょう。



ファームウェアと更新

次の説明は、ファームウェアバージョン 1.0 で提供された標準設定に関することにご注意ください。

新しいファームウェアバージョンが入手可能かもしれません。当社のウェブサイトをチェックし、Windows® または Apple® に接続するとき、Lagoon ANC 上に転送するためにファームウェアの更新を提供する beyerdynamic Update Hub をご覧ください。

互換性に関する注意

Bluetooth® ヘッドホンは、次のプロファイルをサポートする Bluetooth® 再生装置（Bluetooth® バージョン 4.0 以降）と互換性があります。

- A2DP (音声配信)
- HFP (電話)
- HSP (音声出力)
- AVRCP (制御信号の伝達)

注意: 対応する機能は、再生デバイスが上記のプロファイルをサポートしている場合のみに使用できます。

サポートされている音声コーデック

ヘッドホンは、プロファイル A2DP 内では音声コーデック SBC、AAC、aptX™、aptX™ LL をサポートしています。最高の音声品質は、aptX™ により提供されます。レイテンシーが最も低いのは aptX™ LL です。

注意: 音声配信に使用できるコーデックは、再生デバイスでも使用できるコーデックのみであることにご注意ください。

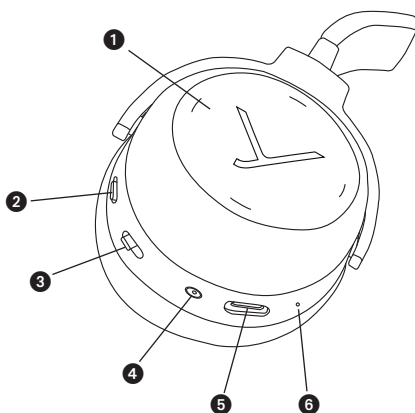
再生デバイスとヘッドホンの両方で使用できるコーデックで最高品質のコーデックが次の順序で自動的に検出されます。

1. aptX™ LL
2. aptX™
3. AAC
4. SBC

注意: ほとんどの再生デバイスでは、使用されているコーデックが何であるか表示されません。

操作要素

- ❶ タッチパネル
- ❷ ANC 機能スイッチ
- ❸ 電源オン/オフおよびペアリング
- ❹ フォーンプラグ (3.5 mm)
- ❺ 充電ケーブル (USB C) 用の USB ポート
- ❻ マイク



Light Guide System (LGS)

イヤークップには、さまざまな運転状態を示す表示装置であるライトガイドシステム (LGS) が装備されています。ライトガイドシステム (LGS) はヘッドホンの状態についての直感的な情報を与えるユニークな機能であり、近くにいる人々から妨害する LED の可視点滅を防ぎます。それはヘッドホンのスイッチが入っているときのみ、作動します。

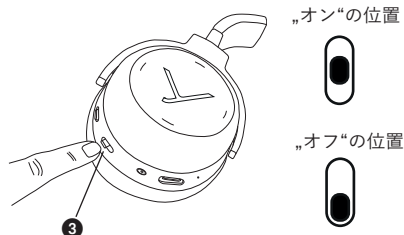
Lagoon ANC が保持、または着用されている角度により、ライトガイドシステムは自動的にスイッチが入るか、切れます。例えば、イヤークップの内側を上向きにして、Lagoon ANC をテーブルの上に平らに置くと、LGS のスイッチが入ります。ヘッドホンを取り付けると、LGS のスイッチは再び切れます。

- ・ ヘッドホンを手にするるとすぐに右側のハウジングは赤く、左側のハウジングは白く点灯します。
- ・ テーブルの上などにヘッドホン置いて 10 秒以上経過すると、スタンバイモードがアクティブになり LGS はオフになります。この際、Bluetooth® の接続は維持されます。
- ・ ペアリング モードでは、左右のハウジングが交互に青く点滅します。
- ・ 正常に接続されると青い光が表示されます。

その他の情報は、「Light Guide System」一覧をご覧ください。

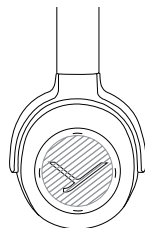
電源のオン/オフ

- ・ 電源を入れる
スイッチ ❸ を „オン“ の位置にします。
- ・ 電源を切る
スイッチ ❸ を „オフ“ の位置にします。



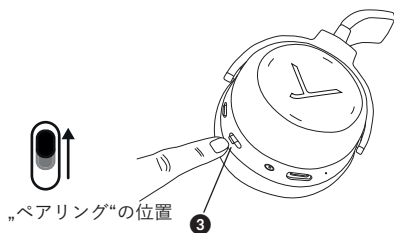
タッチパッドの使い方

図に示されたように、必ず、円形のタッチパッドの境界内に指をとどめてください。

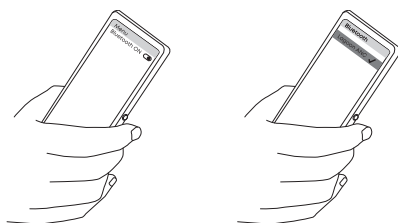


再生デバイスとの接続 (ペアリング)

ヘッドホンをはじめて使用する前に、お使いの携帯電話または他の Bluetooth® 対応機器と接続する必要があります。接続方法は、再生デバイスにより異なります。再生デバイスの取扱説明書を参照してください。



1. スイッチ ③ を „オン“ の位置にします。
2. スイッチ ③ を 3 秒間 „ペアリング“ の位置にします。ペアリングモードでは、Light Guide System により左右のハウジングで交互に青い光が点滅します。

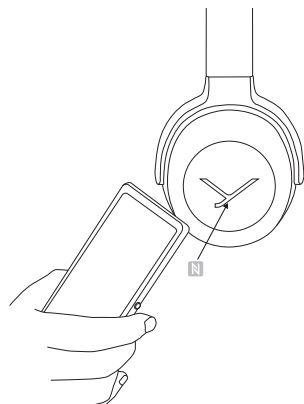


3. 再生デバイスで Bluetooth® 機能を有効化し、必要な場合は新しいデバイスを探します。
4. 再生デバイスの Bluetooth® メニューの使用可能なデバイスで „Lagoon ANC“ を選択して、両デバイスを接続します。
5. Bluetooth® 接続が正常に確立されると、Light Guide System により青い光が点滅します。これ以降、機能範囲内で電源をオンにすると自動的に両方のデバイスが接続されます。

NFC を使用して再生デバイスと接続

NFC を使用して NFC 対応の再生デバイスとヘッドホンとを接続することもできます。ヘッドホンは電源が入った状態である必要があります。ヘッドホンが接続モード (ペアリング) であるかは関係ありません。

1. スイッチ ③ を „オン“ の位置にします。
2. 再生デバイスで NFC 機能をアクティブにします。
注：ペアリング目的のために内蔵された NFC チップを作動させていないプレーヤーがあります。
3. 再生デバイスを左側のハウジング上に持ち、両方の NFC チップが互いに近い位置に来るようにします。
左のイヤークップの上にプレーヤーをずらすと、接続の助けになるかもしれません。



マルチポイント機能

ヘッドホンは、最大 15 台の Bluetooth® 対応デバイスと接続できます。

最大 2 台のデバイスとアクティブな同時接続が可能です。ただし、音楽の再生と電話は 1 台のデバイスでのみ同時に可能です。

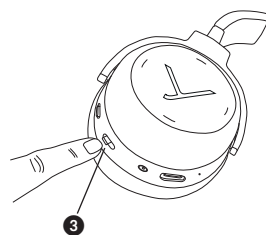
その際、電話が音楽の再生よりも優先されます。つまり、電話がかかってきた場合は音楽の再生が中断されます。

再生デバイスを使用する際には、次の優先順位が適用されます：

優先度	プロフィール	再生デバイス
1	HFP (電話)	デバイス 1 (最初に接続されたデバイス)
2	HFP (電話)	デバイス 2 (2 番目に接続されたデバイス)
3	A2DP (音楽の再生)	デバイス 1 (最初に接続されたデバイス)
4	A2DP (音楽の再生)	デバイス 2 (2 番目に接続されたデバイス)

マルチポイントの設定

- ヘッドホンを最初のデバイスと接続します (「再生デバイスとの接続」を参照)。
- 1 台目のデバイスの Bluetooth® 接続を解除してください。
- スイッチ ③ を使用してヘッドホンの電源を切ります。
- スイッチ ③ を、「ペアリング」の位置にします。
- ヘッドホンを 2 台目のデバイスと接続します (「再生デバイスとの接続」を参照)。
- 1 台目のデバイスの Bluetooth® 接続をもう一度有効にします。デバイスはヘッドホンと自動的に接続されます。
- 両方のデバイスをヘッドホンと接続後は、電源を入れるとヘッドホンと両方のデバイスは自動的に接続されるようになります。



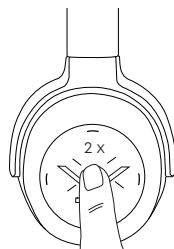
„ペアリング“の位置



マルチポイントの使用

ヘッドホンを 2 台のデバイスと接続しており、

- メディア再生をアクティブにしている場合に電話に応答するには、タッチパネルを短く 2 回押します。
- 通話を終了した場合にメディア再生を停止したところから再生するには、タッチパネルを短く 2 回押します。

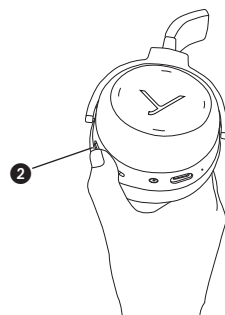


能動型ノイズ消去 (ANC) の使い方

能動型ノイズ消去 (ANC) は、ヘッドホンのスイッチが入っているときのみ働きます。

能動型ノイズ消去 (ANC) を個人的な聴き好みと環境に合わせて、2つの異なったレベルに調節することができます。

一般的に言って、ノイズ消去レベルを上げると、望まない騒音がそれに合わせて低減されます。ノイズ消去レベルを下げると、聞こえる騒音が増えます。私たちは、ANC のスイッチが切られていても、Lagoon ANC が徹底した後部が閉鎖された設計により、かなりの減衰を提供することを確保しました。



設定	説明
OFF	能動型ノイズ消去が非作動になっています。ヘッドホンの受動的な減衰だけが残ります。静かな環境のための最良の設定。
レベル 1	適度なノイズ消去。外の音がまだ聞こえます。家庭やオフィスの中での利用など、騒音が少ないときの最良の設定。
レベル 2	非常にやかましい環境における強力なノイズ消去。騒音はほとんど聞こえません。例えば飛行機や列車の中など、低周波数音が多いときに、最も効果的な減衰。

ご注意：ノイズ消去の知覚される質は周辺ノイズのレベルとタイプに大きく依存します。

通常、ANC レベル 2 は最も強い結果をもたらしますが、しかしある外部の状況（低周波数音が少ない）では、ANC レベル 1 がより良い結果を生むことができます。

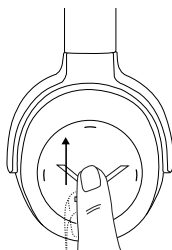
電子装置によって創られるあるレベルの聞こえる背景雑音は、ANC レベル 1 と 2 にとって普通です。

音量設定

• 音量を上げる

タッチパネルを上へスワイプします。

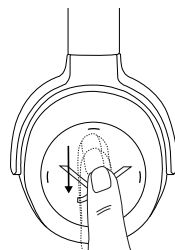
上へスワイプして指を置いた状態のままにすると、最大音量まで一定の間隔で音量が上がります。最大音量に達すると、信号音が鳴ります。



• 音量を下げる

タッチパネルを下へスワイプします。

下へスワイプして指を置いた状態のままにすると、最小音量まで一定の間隔で音量が下がります。最小音量に達すると、信号音が鳴ります。



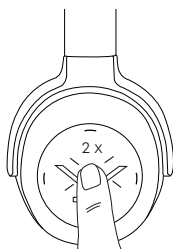
メディア再生

次に説明する機能は、使用する再生デバイスとプレーヤーソフトウェアで提供されていない場合は、使用できないことがあるにご注意ください。ヘッドホンは、Bluetooth® 標準に準拠している制御信号のみを送信します。

重要: タッチパネルの操作は、誤った操作を行うことがないようにするため、かならず1本の指で行うようにしてください。

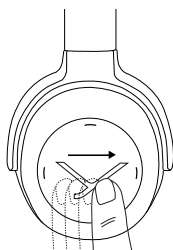
• スタート / 一時停止:

タッチパネルを短く2回タップします。



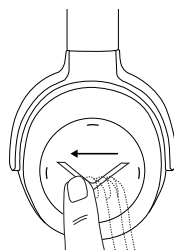
• 次のタイトル:

タッチパネルを前へスワイプします。



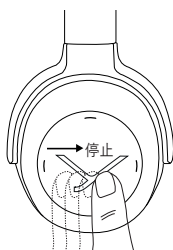
• 前のタイトル:

タッチパネルを後ろへスワイプします。



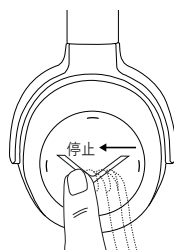
• 早送り:

タッチパネルを前へスワイプして、1秒以上指を置いたままにします。



• 巻き戻し:

タッチパネルを後ろへスワイプして、1秒以上指を置いたままにします。



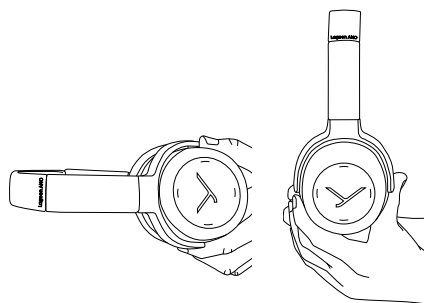
• 自動休止と再開機能:

Lagoon ANC をほとんど完全に前方に傾けると、音声は自動的に休止します。

Lagoon ANC を直立の位置に戻すと、音声は再開します。

これは、ヘッドホンを着用するとき、あるいは外すときに当てはまります。

音声をタッチパネル上の通常のスタート命令を介してスタートすることによって、この休止挙動を回避することができます。



音声が停止する

音声が再開する

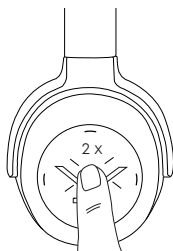
パーソナル アシスタントを呼び出す

- スマートフォンやタブレットのパーソナルアシスタント（Siri、Google Assistant など）を呼び出す：
約 2 秒間タッチパネル中央を押します。



通話機能の制御

- 電話に応答/終了する：
タッチパネルを 2 回続けてタップします。



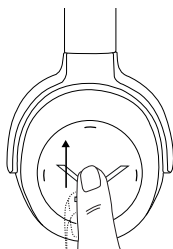
- 電話を拒否：
約 2 秒間タッチパネル中央を押します。



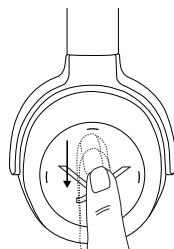
- 割り込み通話（2 つの通話間の切り替え）：
約 2 秒間タッチパネル中央を押します。



- 通話の音量を上げる：
タッチパネルを上へスワイプします。上へスワイプして指を置いた状態のままにすると、最大音量まで一定の間隔で音量が上がります。最大音量に達すると、信号音が鳴ります。



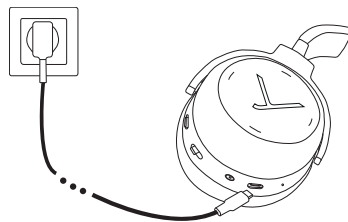
- 通話の音量を下げる：
タッチパネルを下へスワイプします。下へスワイプして指を置いた状態のままにすると、最小音量まで一定の間隔で音量が下がります。最小音量に達すると、信号音が鳴ります。



充電

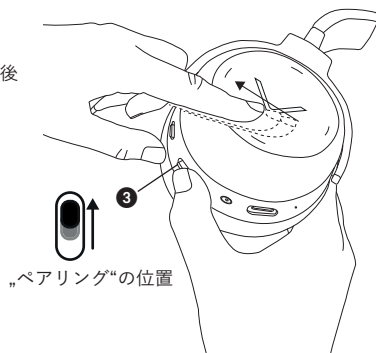
電池の充電には、同梱の USB 充電ケーブルのみを使用することを推奨しています。

1. ヘッドホンの電源を切ります。
2. 同梱の充電ケーブルを使用して、ヘッドホンを標準に準拠している任意の USB A ポート (USB 電源など) に接続します。
3. Light Guide System による充電状態:
赤くゆっくりと点滅 = 0~30% の充電状態
黄色にゆっくりと点滅 = 30~70% の充電状態
緑色にゆっくりと点滅 = 70~99% の充電状態
緑色に点灯 = 100% の充電状態
4. 充電終了後は、USB 充電ケーブルを電源とヘッドホンから取り外してください。







工場設定にリセット

1. スイッチ ③ を“オン”の位置にします。
2. 右側のハウジングを手に取ります。
3. スイッチ ③ を“ペアリング”の位置にして、同時にタッチパネルを後ろへ指でスワイプします。



タッチパネルおよびボタンの機能一覧

特別に明記がない限り、記載中の機能はスイッチが入った状態のヘッドホンに適用されます。

電源を入れる	スイッチ ③ を „オン“ の位置にする	
電源を切る	スイッチ ③ を „オフ“ の位置にする	
接続モード (ペアリング)	ヘッドホンの電源を入れ、スイッチ ③ を „ペアリング“ の位置にして 3 秒間指を置いたままにする	
接続モードとリストの削除	ヘッドホンの電源を入れ、スイッチ ③ を „ペアリング“ の位置にして 10 秒間指を置いたままにする	
メディア再生 開始 / 停止	タッチパネル ① を短く 2 回タップする	
次のタイトル	タッチパネル ① を前へスワイプする	
前のタイトル	タッチパネル ① を後ろへスワイプする	
早送り	タッチパネル ① を前へスワイプして、1 秒以上指を置いたままにする	
巻き戻し	タッチパネル ① を後ろへスワイプして、1 秒以上指を置いたままにする	
電話に応答 / 終了	タッチパネル ① を短く 2 回タップする	
着信電話を拒否	タッチパネル ① を 2 秒間押す	
割り込み通話 (2 つの通話間の切り替え)	タッチパネル ① を短く 2 回タップする	
パーソナル アシスタントを起動する (Siri、Google アシスタントなど)	タッチパネル ① を 2 秒間押す	

設定一覧

記載中の設定は、電源が入った状態のヘッドホンに適用されます。

音声応答の有効化/無効化	スイッチ ③ を „ペアリング“ の位置にして 1 秒間指を置いたままにし、同時にタッチパネル ① を 2 回タップします。
工場設定にリセット	スイッチ ③ を „ペアリング“ の位置にして、同時にタッチパネル ① を後ろへ指でスワイプします。

Light Guide System 一覧

電池の充電 0~30% 30~70% 70~99% 充電完了 (100%)	赤くゆっくりと点滅 黄色くゆっくりと点滅 緑色でゆっくりと点滅 緑色に点灯
電池がまもなく切れる	4回 赤く点滅
Bluetooth® 接続モードが作動中 (ペアリング)	左右、交互に青にフラッシング
Bluetooth® 接続がアクティブ	オレンジ色に点灯
Bluetooth® 接続が切断	3秒間隔で青くゆっくりと点滅
メディア再生がアクティブ	オレンジ色に点灯
着信通話	左右、交互にオレンジにフラッシング
通話中	オレンジ色に点灯
左 / 右側のディスプレイ	ヘッドホンを再び手に取った後、絶え間のない白いライトが左側に表示され、絶え間のない赤いライトが右側に表示されます。
スタンバイモード	ヘッドホンが10秒以上使用されないと、Light Guide System がオフになります。

コードレスで再生デバイスを使用する際に最高の音質を得るための設定

ヘッドホンで Bluetooth® を使用して、できるだけよい音質を得るためには、次の事項にご注意ください:

1. ヘッドホンの音量を最小に、プレーヤーの音量を最大にセットしてください。
2. これ以降、音量は、再生デバイスではなく、ヘッドホンでのみ調節してください。

重要:

この設定は、音量が自動的に同期されない再生デバイスにのみ当てはまります。

音量が自動的に同期される再生デバイス (iPhone、iPad、さまざまな Android スマートフォン) では、ヘッドホンの音量は再生デバイスの音量と常に同じです。

3. 場合によっては、再生デバイスのソフトウェアの音声効果を無効にします。

トラブルシューティング

問題	原因	解決法
ヘッドホンの電源を入れることができない	電池が切れているか、残量が少ない	充電する
音声が出力できない	Bluetooth® 接続が確立されていない	ヘッドホンを再生デバイスと接続する
ヘッドホンが再生デバイスの使用できる Bluetooth® デバイスに表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンの電源が入っていない ヘッドホンが接続モードではない 別の再生デバイスとの Bluetooth® 接続がすでに存在する 	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンの電源を入れる ヘッドホンを接続モードにする 別の再生デバイスへの Bluetooth® 接続を切断して、ヘッドホンを目的のデバイスと接続する
ヘッドホンの音量が最大に設定されているが、再生音量が低すぎる	伝達される音声信号の音量が小さすぎる	再生デバイスの再生音量を最大に設定する
音が耳障りで低音再生が不十分である	イヤープッドが適切に密着していない	密着度が最大になるように、ヘッドホンを装着する
ワイヤレスが正常に機能する範囲が小さすぎる、または接続が中断される	他のデバイスとの間に障害となるものがある	WLAN ルーターと電子レンジから離れて、再生デバイスとヘッドホンの間に身体がこないようにする

オーディオケーブルの使用

両端に 3.5 mm ミニプラグを備えたオーディオケーブルが同梱されています。オーディオケーブルを使用すると、Bluetooth® 接続を使用せずに、また電池が充電されていない場合にもヘッドホンを使用できます。

- 電池の電気が使用されないように、ヘッドホンの電源を切ります。
- オーディオケーブルの一端を右側のハウジングのジャック ④ に接続します。

お手入れ

- Lagoon ANC の清掃には柔らかい乾いた布または軽く湿らせた布のみを使用してください。
- 溶剤を含む洗剤は表面を破損する恐れがあるため、決して使用しないでください。

リチウムイオン電池の取扱に関する注意

- 充電が完了したら、USB 接続ケーブルを充電器とヘッドホンから取り外します。
- 特に電池の充電状態が高い状態で高温にさらすと、元に戻すことはできない損傷がもたらされる場合があります。
- 電池を長期間使用しないため保管する場合は、電池の充電状態を約 50% にして、20 °C 以下の環境で保管するようにしてください。
- 使用後は、電池使用製品の電源を切ってください。

スペアパーツ

ヘッドホンのスペアパーツは www.beyerdynamic.com/service でお探しいただけます。

廃棄

製品、使用説明、包装にある次のシンボルは、お使いの電気・電子デバイスの寿命が終了後、特別に家庭廃棄物と分けて廃棄する必要があることを示しています。EU 内では、リサイクルのための分別収集システムを利用できます。詳細情報は、お住まいの地域の当局または製品を購入した販売業者にお問い合わせください。



電池の廃棄

このシンボルは、お住まいの地域の法律および規則に従って、お使いの製品または電池、またはその両方を家庭廃棄物と分けて廃棄する必要があることを示しています。製品の寿命が終了後、お住まいの地域の当局により定められた収集場所にお持ちください。廃棄時にお使いの製品または電池、またはその両方を分別収集およびリサイクルすることで、自然資源を守る助けをします。私たちの健康と自然を保護する方法で確実にリサイクルされます。



- 古い電池には、私たちの健康と環境を損なう物質が含まれていることがあります。
- 使用済みの電池は、かならず有効な規則に従って廃棄するようにしてください。使用済みの電池は火の中に投げ入れたり（爆発の危険）、家庭廃棄物に廃棄したりしないでください。地域の収集場所にお持ちください。返却は無料で行うことができ、また法律により定められています。電池は充電していない状態のみ廃棄してください。
- すべての電池は、鉄、亜鉛、ニッケルなどの貴重な素材を取り出すためリサイクルされます。

簡略 EU 適合宣言

beyerdynamic は、無線伝送機器が EU 規定 2014/53/EU を満たしていることを宣言します。EU 適合宣言の全文は、インターネットで以下のアドレスにて参照できます：

<http://www.beyerdynamic.com/cod>

技術仕様

高周波の周波数領域	2.402 – 2.480 GHz
空中線電力	10 dBm
運転温度領域	0～40 °C
充電温度領域	0～40 °C

詳細は以下のサイトをご覧ください：

www.beyerdynamic.com/lagoon-anc

製品登録

- インターネットサイト www.beyerdynamic.com でご購入になったヘッドホンのシリアル番号を入力し、製品をご登録ください。

保証

beyerdynamic は、ご購入されたオリジナルの beyerdynamic 製品（以下、「製品」という）に対して制限的保証を提供します。

製品の保証を使用する状況が生じた場合は、購入した販売店または beyerdynamic の認証サービス パートナーに製品をお持ちください。世界中のすべてのサービス パートナーの概要は、インターネットの www.beyerdynamic.com/vertriebspartner にてご参照いただけます。

この制限的保証の条件に従い、beyerdynamic は本製品の購入時点において素材および製造の不具合がないことを保証します。本保証は、最初の購入者であるお客様が、新しい未使用の製品を購入した日付から 2 年間有効です。ご購入日を証明するために領収書が必要となりますので、領収書は必ず保管してください。領収書には、ご購入日および製品の名称が記載されている必要があります。beyerdynamic および担当の beyerdynamic サービス パートナーが照会できる領収書がない場合は、beyerdynamic は制限的保証を提供できません。beyerdynamic および担当の beyerdynamic サービス パートナーは、本保証条件に従い、製品が保証対象でないことが明らかになった場合、作業料金の請求書を作成する権利を有します。

保証では、beyerdynamic により選択された修理、部品交換、または製品交換のいずれかの方法により、素材または製造の不具合が修正されます。beyerdynamic が製品を修理、部品交換、製品交換した場合、対象となる不具合または交換された製品に関する保証期間は、元の保証期間の残り期間または修理日から 90 日間のうちより長い方が適用されます。修理または交換の要求は、機能的に同価の、修理された製品により満たされるものとします。交換した部品またはコンポーネントは beyerdynamic の所有になります。

本制限的保証の対象外:

- ・ 価値および目的の使用において関係しない微細なエラーまたは製品の性質における偏差
- ・ 製品の付属アクセサリ
- ・ 電池およびバッテリー（これらの製品は性質上寿命が短く、寿命の長さは使用状況により大きく異なります）
- ・ ヘッドパッド、イヤープッド、ウィンドプロテクション、使用時に直接肌に触れるその他すべての製品部品
- ・ 製品の不適切な使用や誤った使用に起因する不具合（操作エラー、機械的損傷、正しくない作動電圧など）、また製品の本来の使用目的以外に使用したことに起因する不具合を含むが、これに限定されるものではありません。
- ・ 使用とメンテナンスに関して beyerdynamic からの指示に従わなかったことに起因する不具合
- ・ 通常の摩耗により発生した製品の不具合
- ・ 事前に書面により beyerdynamic から同意を得ている方法および範囲における変更を除き、製品に行った変更により起因する、またはそれに関係する製品の不具合
- ・ 不可抗力に起因する製品の不具合
- ・ 製品の購入時に既知であった製品の不具合
- ・ 製品のために開発された beyerdynamic のオリジナル アクセサリーではないアクセサリ コンポーネントまたは周辺機器を使用したことに起因する製品の不具合

承認を受けていない者または修理業者が製品を修理した場合、保証の権利は消滅します。

制限的保証は、該当国の法律がこれに反することがない限り、世界中のすべての国において有効です。ここに明記されている以外またはそれ以上の保証は、制限的保証の対象外です。また、制限的保証により制限されることがない、お住まいの国の法律に従った保証を適用できます。制限的保証により、法律による権限および購買契約により発生する、販売業者に対する消費者の権限のいずれも制限されません。

書面または口頭に関わらず、印刷されたこの制限的保証以外の明示的保証はありません。黙示的保証はすべて、商品性および特定の目的の適合性を含め、またそれに限定されず、本制限的保証期間のみ有効です。BEYERDYNAMIC は、いかなる場合も、利益の損失および経済的不利を含め、またそれに限定されず、間接、偶然、結果的損害に対する責任を負いません。

国/地域によっては、偶然および結果的損失の制限、または黙示的保証の除外または制限が許可されていない場合があります。この場合、上記の制限と除外は適用されません。

商標

Windows はアメリカ合州国および/または他の国々における Microsoft Corporation の登録商標、あるいは商標です。

Apple、iPhone、iPad、iPod touch、macOS および Mac はアメリカ合州国と他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Android は Google LLC の商標です。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、beyerdynamic によるこの商標のあらゆる使用は認可されています。他の商標や商品名はそれぞれの所有者のものです。

Qualcomm aptX™ は Qualcomm Technologies, Inc. および/またはその支店の製品です。Qualcomm® はアメリカとその他の国々で登録された Qualcomm Incorporated の商標です。aptX™ は、Qualcomm Technologies International, Ltd. の登録商標です。

N-Mark はアメリカ合州国と他の国々における NFC Forum の商標、あるいは登録商標です。

USB タイプ A と USB タイプ B は USB インプリメンターズの商標です。

www.beyerdynamic.com



beyerdynamic GmbH & Co. KG

Theresienstraße 8 · 74072 Heilbronn · Germany
Phone +49 7131 617-300 · info@beyerdynamic.de

For further distributors worldwide, please go to www.beyerdynamic.com
Non-contractual illustrations. Subject to change without notice.

Weitere Vertriebspartner weltweit finden Sie im Internet unter www.beyerdynamic.com
Abbildungen nicht vertragsbindend. Änderungen vorbehalten.

EN-DE-FR-ES-IT-SV-RU-JP-KO-ZH 2 / Lagoon ANC (09.19)